

総括

1 令和2年度 予防接種実施結果（総論）

(1) 接種者数について

令和3年度調査では、県内63市町村全てから接種者数の報告があった。定期接種については、調査した全ての項目で算出可能として報告があった。

生年コホート調査として、今回報告を受けた令和2年度接種者数を平成24年度から令和元年度の接種者数に積み上げ、生年別接種者数の合計値を求め接種完了率を算出した。

IPV、DT（二種混合）、麻しん単抗原及び風しん単抗原の第1期・第2期の各ワクチンは、接種者数のみを資料編にまとめ、接種完了率の算出は行わなかった。

(2) 埼玉県全体の接種状況

(ア) 埼玉県の令和2年度接種者数における生年別接種者割合

予防接種は、感染症罹患リスクの高い年齢までに、効果的に受けることが重要である。令和2年度に接種された定期予防接種の接種時期を比較検討するため、DPT-IPV1期、MR、日本脳炎1期及び水痘ワクチンの令和2年度の生年別接種者数及び生年別接種者割合をまとめた（表1-1、表1-2）。また、生年別接種者割合についてはグラフにもまとめた（図1-1）。

生年別接種者割合の算出方法

【例：令和2年度 DPT-IPV1期初回1回目接種者の令和2年生接種者割合】

$$\frac{\text{令和2年度 DPT-IPV1期初回1回目の令和2年生接種者数}}{\text{令和2年度 DPT-IPV1期初回1回目の接種者総数}} \times 100$$

表 1 - 1 令和 2 年度 生年別接種者数

		令和 2年生	令和 元年生	平成 30年生	平成 29年生	平成 28年生	平成 27年生	平成 26年生	平成 25年生	平成 24年生	
DPT-IPV 1期	初回	1回目	47715	1883	39	26	25	20	21	10	-
		2回目	43358	6800	63	31	27	35	37	15	1
		3回目	38666	11779	190	63	52	64	54	28	1
	追加	337	30509	20138	1909	577	357	545	180	9	
MR	第1期	9105	40720	1750	4	3	-	1	-	-	
	第2期	-	-	-	-	-	13697	43043	92	4	
日本脳炎 1期	初回	1回目	340	513	4785	39269	8561	2017	1962	395	13
		2回目	305	514	2975	37251	11195	2863	2719	783	25
	追加	-	134	416	1233	22664	15142	9639	2791	218	
水痘	1回目	8655	40962	2395	159	5	-	2	-	-	
	2回目	10	25844	23995	2491	6	6	4	-	1	

(-:接種者数0人)

接種者数が最も多い生年

表 1 - 2 令和 2 年度 生年別接種者割合

		令和 2年生	令和 元年生	平成 30年生	平成 29年生	平成 28年生	平成 27年生	平成 26年生	平成 25年生	平成 24年生	
DPT-IPV 1期	初回	1回目	95.9%	3.8%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	-
		2回目	86.1%	13.5%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%
		3回目	76.0%	23.1%	0.4%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
	追加	0.6%	55.9%	36.9%	3.5%	1.1%	0.7%	1.0%	0.3%	0.0%	
MR	第1期	17.7%	78.9%	3.4%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-	-	
	第2期	-	-	-	-	-	24.1%	75.7%	0.2%	0.0%	
日本脳炎 1期	初回	1回目	0.6%	0.9%	8.3%	67.9%	14.8%	3.5%	3.4%	0.7%	0.0%
		2回目	0.5%	0.9%	5.1%	63.5%	19.1%	4.9%	4.6%	1.3%	0.0%
	追加	-	0.3%	0.8%	2.4%	43.4%	29.0%	18.5%	5.3%	0.4%	
水痘	1回目	16.6%	78.5%	4.6%	0.3%	0.0%	-	0.0%	-	-	
	2回目	0.0%	49.4%	45.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	

(-:接種者数0人)

接種者割合が最も高い生年

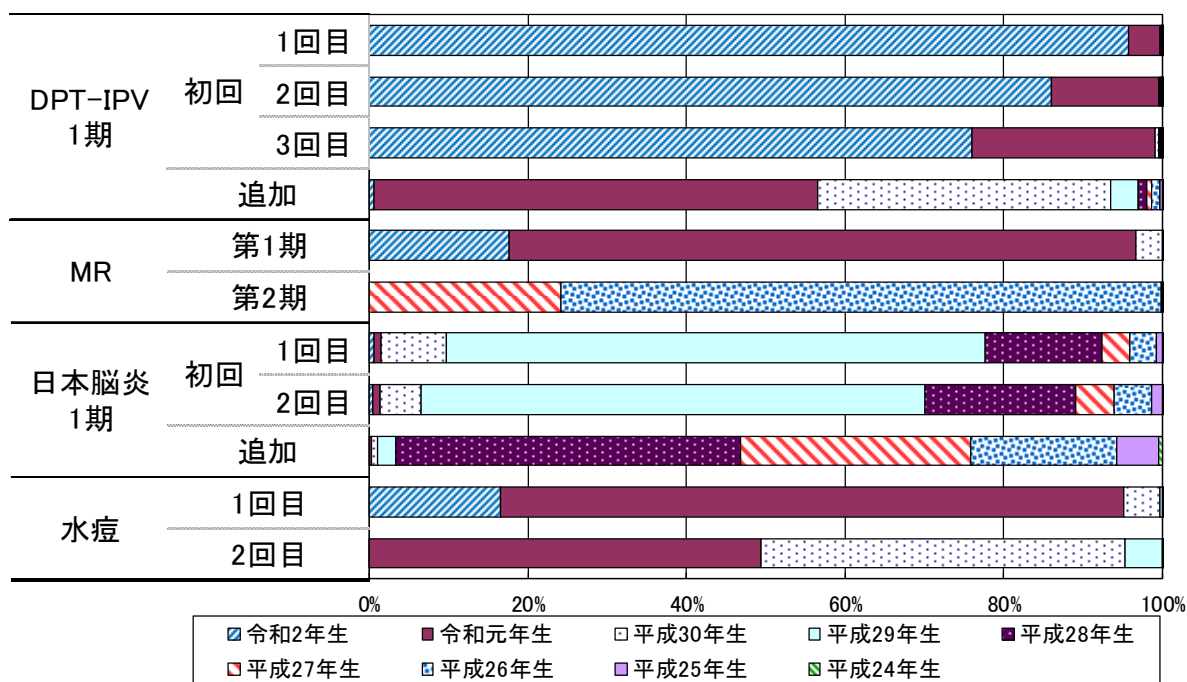


図 1 - 1 生年別接種者割合

(a) ジフテリア，百日せき，急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種に関するワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和2年度の1期初回1回目の接種者は，平成25年生から令和2年生に分布し，接種者数及び接種者割合は令和2年生（47,715人で95.9%）が最も多かった。1期初回2回目の接種者は，平成24年生から令和2年生に分布し，接種者数及び接種者割合は令和2年生（43,358人で86.1%）が最も多かった。1期初回3回目の接種者は，平成24年生から令和2年生に分布し，接種者数及び接種者割合は令和2年生（38,666人で76.0%）が最も多かった。1期追加の接種者は，平成24年生から令和2年生に分布し，接種者数及び接種者割合は令和元年生（30,509人で55.9%）が最も多かった（表1-1，表1-2，図1-1）。

(b) 麻しん及び風しんの予防接種に関するワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

麻しん及び風しんの抗原を含むワクチンとしては、MR ワクチン、麻しん単抗原及び風しん単抗原ワクチンがある。このうち、麻しん単抗原ワクチン、風しん単抗原ワクチンについては、県全体の接種者数が麻しん単抗原ワクチン1期0人、2期1人、風しん単抗原ワクチン1期及び2期が0人と少なかったため、各ワクチン単独での生年別接種者割合の算出は行わず、MR についてのみ生年別接種者数及び接種者割合を算出した。

令和2年度の1期の接種者は、平成26年生から令和2年生に分布し、接種者数及び接種者割合は令和元年生（40,720人で78.9%）が最も多かった。また、2期の接種者は、平成24年生から平成27年生に分布し、接種者数及び接種者割合は平成26年生（43,043人で75.7%）が最も多かった（表1-1、表1-2、図1-1）。

(c) 日本脳炎ワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和2年度の1期初回1回目及び2回目の接種者は、いずれも平成24年生から令和2年生に分布し、接種者数及び接種者割合は平成29年生（それぞれ39,269人で67.9%、37,251人で63.5%）が最も多かった。1期追加の接種者は、平成24年生から令和元年生に分布し、接種者数及び接種者割合は平成28年生（22,664人で43.4%）が最も多かった（表1-1、表1-2、図1-1）。

(d) 水痘ワクチンの生年別接種者数及び接種者割合

令和2年度の1回目の接種者は、平成26年生から令和2年生に分布し、接種者数及び接種者割合は令和元年生（40,962人で78.5%）が最も多かった。2回目の接種者は、平成24年生から令和2年生に分布し、接種者数及び接種者割合は令和元年生（25,844人で49.4%）が最も多かった（表1-1、表1-2、図1-1）。

(イ) 埼玉県の生年別接種完了率

(a) 定期接種の生年別接種完了率

平成 25 年度から令和 3 年度調査までの 9 年分の接種者数を積み上げ、接種完了率を算出し比較検討した（表 1-3）。なお、DPT ワクチン、ポリオワクチンの生年別接種完了率は、3 集計及び算出方法の（3）各予防接種の生年別接種完了率の算出で記載した通り、複数ワクチンの接種者数を合計したものを接種者数として生年別接種完了率を算出した。

(a) - 1 DPT ワクチン

各生年別で最も接種完了率が高かったのは、DPT1 期初回 1 回目では令和元年生（103.5%）、DPT1 期初回 2 回目では令和元年生（103.8%）、DPT1 期初回 3 回目では令和元年生（103.4%）、DPT1 期追加では平成 27 年生（100.9%）であった（表 1-3）。

(a) - 2 ポリオワクチン

各生年別で最も接種完了率が高かったのは、ポリオ 1 回目では令和元年生（103.5%）、2 回目では平成 27 年生（101.0%）であった（表 1-3）。

(a) - 3 MR ワクチン

各生年別で最も接種完了率が高かったのは、MR 第 1 期では平成 30 年生（102.7%）、MR 第 2 期では平成 26 年生（101.2%）であった（表 1-3）。

(a) - 4 日本脳炎ワクチン

各生年別で最も接種完了率が高かったのは、1 期初回 1 回目では平成 26 年生（100.3%）、1 期初回 2 回目では平成 26 年生（98.8%）、1 期追加では平成 25 年生（89.1%）であった（表 1-3）。

(a) - 5 水痘ワクチン

各生年別で最も接種完了率が高かったのは、1 回目では平成 30 年生（102.3%）、2 回目では平成 29 年生（94.7%）であった（表 1-3）。

表 1 - 3 生年別接種完了率

	令和2年生	令和元年生	平成30年生	平成29年生	平成28年生	平成27年生	平成26年生	平成25年生	平成24年生
DPT1期初回1回目	100.9%	103.5%	102.6%	102.3%	102.2%	101.8%	101.6%	101.3%	102.0%
DPT1期初回2回目	91.7%	103.8%	102.7%	102.5%	102.6%	101.7%	101.4%	101.3%	101.4%
DPT1期初回3回目	81.8%	103.4%	102.7%	102.6%	102.4%	101.7%	101.0%	101.2%	100.9%
DPT1期追加	0.7%	63.9%	97.9%	100.6%	100.8%	100.9%	100.8%	100.5%	100.0%
ポリオ1回目*	100.9%	103.5%	102.6%	102.3%	102.2%	101.8%	101.6%	101.3%	101.2%
ポリオ2回目**	0.7%	63.9%	97.9%	100.6%	100.9%	101.0%	100.9%	100.6%	99.2%
MR第1期	19.3%	101.5%	102.7%	102.5%	102.3%	101.3%	100.9%	100.1%	100.3%
MR第2期	-	-	-	-	-	24.5%	101.2%	100.0%	100.0%
日本脳炎1期初回1回目	0.7%	1.6%	10.6%	83.7%	96.2%	98.1%	100.3%	98.8%	98.7%
日本脳炎1期初回2回目	0.6%	1.5%	7.0%	76.6%	92.6%	95.4%	98.8%	97.7%	96.3%
日本脳炎1期追加	-	0.3%	1.1%	3.3%	45.2%	73.1%	87.2%	89.1%	87.6%
水痘1回目	18.3%	100.7%	102.3%	101.9%	101.6%	99.0%	98.4%	77.2%	34.8%
水痘2回目	0.0%	53.6%	92.5%	94.7%	93.9%	89.9%	83.2%	75.2%	50.5%

(-: 累積接種者0人)

接種完了率が最も高い生年

* 平成25年度調査以降(平成24年度以降の接種者数)は経口生ポリオ1回目、IPV1期初回1回目、DPT-IPV1期初回1回目の合算
 ** 平成25年度調査以降(平成24年度以降の接種者数)は経口生ポリオ2回目、IPV1期追加、DPT-IPV1期追加の合算

(b) 標準接種期間の開始年齢における生年別接種完了率

(b) - 1 ジフテリア, 百日せき, 急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種

ジフテリア, 百日せき, 急性灰白髄炎及び破傷風の予防接種のうち, DPT-IPV ワクチン, DPT ワクチン, IPV を使用した1期初回の接種については, 標準的な接種期間が生後3月に達した時から生後12月に達するまでの期間である。今年度調査では令和2年生が最も標準接種期間に合致する年齢(調査期間年齢 令和2年1月生: 3か月~1歳2か月, 令和2年12月生: 0か月~3か月)である。

なお, 平成24年11月のDPT-IPVワクチン導入後, 定期接種実施要領では, ジフテリア, 百日せき及び破傷風の予防接種と急性灰白髄炎の予防接種の2つの項目が統一された。しかし, これまで本調査では, DPTワクチンとポリオワクチンを分けて接種完了率を算出しており, 平成25年度以降の調査についても, 同様に算出した。以下, DPTワクチン及びポリオワクチンの接種完了率について, 標準的な接種期間に最も合致する年齢に該当する生年の経年変化を比較した。

DPT ワクチン 1 期初回 1～3 回目は、標準的な接種期間に最も合致する年齢の生年の接種完了率を比較した結果、使用するワクチンとして DPT-IPV ワクチンに変更され、接種完了率がより向上した（表 1-4）。

表 1-4 DPT1 期初回 1～3 回目接種完了率の経過

DPT 1 期初回	①平成25 年度調査	→	②平成26 年度調査	→	③平成27 年度調査	→	④平成28 年度調査	→	⑤平成29 年度調査	→	⑥平成30 年度調査	→	⑦令和元 年度調査	→	⑧令和2 年度調査	→	⑨令和3 年度調査	接種完了率 の変化
	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成30年生	平成30年生	令和元年生	令和元年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	⑨-①	
1 回目	91.8%	→	94.6%	→	96.0%	→	97.8%	→	97.8%	→	97.9%	→	98.3%	→	99.6%	→	100.9%	+ 9.1
2 回目	79.8%	→	84.3%	→	85.9%	→	89.3%	→	88.5%	→	87.8%	→	88.6%	→	89.7%	→	91.7%	+ 11.9
3 回目	67.6%	→	73.6%	→	74.8%	→	80.0%	→	77.6%	→	77.1%	→	77.8%	→	79.0%	→	81.8%	+ 14.2
ワクチンの 種類	DPT		DPT+ DPT-IPV		DPT+ DPT-IPV		DPT+ DPT-IPV		DPT+ DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV		DPT-IPV	

ポリオワクチンについても同様の比較を行った。今年度調査の令和 2 年生と昨年度調査の令和元年生を比べたところ、1 回目の接種完了率は向上した。平成 25 年度調査以降では、2 回目は DPT-IPV ワクチン及び IPV の 1 期追加の接種者数を合算して算出しており、令和 2 年度に DPT-IPV ワクチン及び IPV の接種を始めた者は 1 期追加の標準的な接種期間に達せず、ほとんどの者が接種できない。そのため、2 回目の接種完了率は低いままであると思われる（表 1-5）。

表 1-5 ポリオ接種完了率の経過

ポリオ	①平成25 年度調査	→	②平成26 年度調査	→	③平成27 年度調査	→	④平成28 年度調査	→	⑤平成29 年度調査	→	⑥平成30 年度調査	→	⑦令和元 年度調査	→	⑧令和2 年度調査	→	⑨令和3 年度調査	接種完了率 の変化
	平成24年生	平成25年生	平成26年生	平成27年生	平成28年生	平成29年生	平成29年生	平成30年生	平成30年生	令和元年生	令和元年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	令和2年生	⑨-①	
1 回目*	87.6%	→	94.5%	→	96.0%	→	97.8%	→	97.8%	→	97.9%	→	98.3%	→	99.6%	→	100.9%	+ 13.3
2 回目**	0.2%	→	0.4%	→	0.9%	→	0.5%	→	0.7%	→	0.7%	→	0.6%	→	0.6%	→	0.7%	+ 0.5
ワクチンの 種類	経口生ポリオ +IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV		IPV +DPT-IPV	

* 平成25年度調査以降(平成24年度以降の接種者数)は経口生ポリオ1回目、IPV1期初回1回目、DPT-IPV1期初回1回目の合算

** 平成25年度調査以降(平成24年度以降の接種者数)は経口生ポリオ2回目、IPV1期追加、DPT-IPV1期追加の合算

(b) - 2 麻しん及び風しんの予防接種

平成 27 年度調査以前の接種完了率は MR ワクチン第 1 期に麻しん及び風しんの各単抗原ワクチン接種者を合計した値を算出し、解析していたが、平成 28 年度調査以降の接種完了率は MR ワクチン接種者のみを算出し、解析した。

平成 25 年度からの 9 年間の調査において、1 歳になってすぐに接種した 1～3 月生を含む生年を比較した結果、MR ワクチン接種完了率は今年度調査が最大値となった。（表 1-6）。

表 1-6 MR 第 1 期接種完了率の経過（早期接種者）

第1期	①平成25年度調査	→	②平成26年度調査	→	③平成27年度調査	→	④平成28年度調査	→	⑤平成29年度調査	→	⑥平成30年度調査	→	⑦令和元年度調査	→	⑧令和2年度調査	→	⑨令和3年度調査	接種完了率の変化 ⑨ - ①
	平成24年生		平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生		令和2年生	
MR	15.4%	→	14.7%	→	15.2%	→	15.4%	→	16.4%	→	16.0%	→	16.9%	→	17.0%	→	19.3%	+ 3.9

今年度調査では令和元年生の遅生まれの子どもが第 1 期接種対象年齢を迎えている。令和元年生の MR ワクチン第 1 期接種完了率は昨年度調査より大きく増加した（表 1-7）。

表 1-7 MR 第 1 期接種完了率の経過

第1期	①平成25年度調査	→	②平成26年度調査	→	③平成27年度調査	→	④平成28年度調査	→	⑤平成29年度調査	→	⑥平成30年度調査	→	⑦令和元年度調査	→	⑧令和2年度調査	→	⑨令和3年度調査	接種完了率の変化 ⑨ - ①
	平成23年生		平成24年生		平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生	
MR	94.1%	→	94.9%	→	95.7%	→	96.7%	→	97.2%	→	98.2%	→	99.1%	→	99.3%	→	101.5%	+ 7.4

なお、第 1 期接種対象年齢である 1 歳児の時期が終了した今年度調査の平成 30 年生(102.7%)では、95%以上の接種完了率が達成されていた（表 1-3）。

MR ワクチン第 2 期は、平成 18 年度に予防接種法施行令の改正により開始されたことから、本年度の調査が 15 年目となる。小学校就学前年度の 1 年間が接種対象期間となるため、接種対象者が年度で区切られることから、生年別集計では 1～3 月生と 4～12 月生の生年に分かれる。

今年度調査では、平成 26 年生について、令和元年度と令和 2 年度の接種者数を積み上げ、定期接種対象期間での観察が終了し、完了率は 101.2%となった。同接種期間に相当する昨年度調査の平成 25 年生の接種完了率と比較してわずかに増加し、平成 25 年度調査以降 95%以上の接種完了率を達成し続けている（表 1-8）。

表 1-8 MR 第 2 期接種完了率の経過

第2期	①平成25年度調査	→	②平成26年度調査	→	③平成27年度調査	→	④平成28年度調査	→	⑤平成29年度調査	→	⑥平成30年度調査	→	⑦令和元年度調査	→	⑧令和2年度調査	→	⑨令和3年度調査	接種完了率の変化 ⑨ - ①
	平成18年生		平成19年生		平成20年生		平成21年生		平成22年生		平成23年生		平成24年生		平成25年生		平成26年生	
MR	96.6%	→	97.3%	→	97.1%	→	97.3%	→	97.2%	→	97.9%	→	100.0%	→	99.9%	→	101.2%	+ 4.6

(b) - 3 水痘の予防接種

平成 26 年 10 月 1 日から開始された水痘ワクチン接種の接種完了率は、今年で 7 年分のデータが蓄積された。平成 26 年生以降に関しては、任意接種の影響を受けず評価が可能である。

平成 27 年度調査以降の 7 年間に於いて、1 歳になってすぐに接種した 1~3 月生を含む生年を比較した結果、接種完了率は 6.6 ポイント向上した（表 1-9）。

表 1 - 9 水痘ワクチン 1 回目接種完了率の経過（早期接種者）

水痘	①平成27年度調査	→	②平成28年度調査	→	③平成29年度調査	→	④平成30年度調査	→	⑤令和元年度調査	→	⑥令和2年度調査	→	⑦令和3年度調査	接種完了率の変化 ⑦ - ①
	平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生		令和2年生	
1回目	11.7%		12.2%	→	14.9%	→	14.6%	→	15.2%	→	15.7%	→	18.3%	+ 6.6

今年度調査では令和元年生の遅生まれの子どもが 1 回目接種対象年齢を迎えている。また、任意接種等の影響を受けない平成 28 年度調査以降の水痘ワクチン 1 回目接種完了率は、継続して感染症の流行防止に必要とされる 90%を越え、今年度調査の接種完了率は昨年度調査に引き続き向上した。平成 27 年度調査以前は定期接種開始前が含まれ、任意接種の接種率が考慮されていない。そのため参考値となる（表 1-10）。

表 1 - 10 水痘ワクチン接種完了率の経過

水痘	①平成27年度調査	→	②平成28年度調査	→	③平成29年度調査	→	④平成30年度調査	→	⑤令和元年度調査	→	⑥令和2年度調査	→	⑦令和3年度調査	接種完了率の変化 ⑦ - ①
	平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生		令和元年生	
1回目	64.5%		90.3%	→	92.5%	→	95.7%	→	97.0%	→	97.6%	→	100.7%	+ 36.2
2回目	16.1%		34.9%	→	41.6%	→	44.5%	→	45.7%	→	45.6%	→	53.6%	+ 37.5

すべての者が 1 回目の標準的な接種期間に達する生年の接種完了率を比較した。今年度調査の平成 30 年生は昨年度調査よりもさらに向上した。平成 28 年度調査以前は定期接種開始前が含まれ、任意接種の接種率が考慮されていない。そのため参考値となる（表 1-11）。

表 1 - 11 水痘ワクチン接種完了率の経過

水痘	①平成27年度調査	→	②平成28年度調査	→	③平成29年度調査	→	④平成30年度調査	→	⑤令和元年度調査	→	⑥令和2年度調査	→	⑦令和3年度調査	接種完了率の変化 ⑦ - ①
	平成24年生		平成25年生		平成26年生		平成27年生		平成28年生		平成29年生		平成30年生	
1回目	30.5%		76.1%	→	97.7%	→	98.4%	→	101.2%	→	101.6%	→	102.3%	+ 71.8
2回目	31.3%		68.3%	→	77.6%	→	84.2%	→	89.0%	→	90.0%	→	92.5%	+ 61.2